

青山中学校・地域の皆様と集めるペットボトルキャップ回収

～キャップ回収を通して、世界の子供たちを救う～

青山中学校生徒会執行部

青山中学校では今までキャップ回収を行い、予防接種を受ける事ができない子供達のために、活動してきました。この活動に地域の皆様と一緒に取り組み、世界の子供達を救う活動をしていくと同時に、一緒に協力して頂く地域の方への感謝の気持ちを持って生活していく青山中学生徒になりたいと考えています。

1. キャップ回収を行う目的

キャップを430個集めると10円分になります。キャップを860個集めると、ポリワフチンを1本購入できます。

ポリオとは、感染症の一種で、手や足に麻痺が出る症状です。

他にも...

○ はしか → 4085個 (感染症)

○ 結核 → 301個 (肺炎のようなもので、感染症)

二のように感染症の予防のための予防接種のワフチンにする事ができます。

2. 今までのキャップ集めの成果

前期、青山中では11万個ものキャップを回収する事ができました。これを、ポリワフチンの本数にすると128本になります。そして、排出されるはずだった二酸化炭素の量は、800kgにもなります。キャップ回収によって、ワフチンの配布や環境に貢献する事ができました。

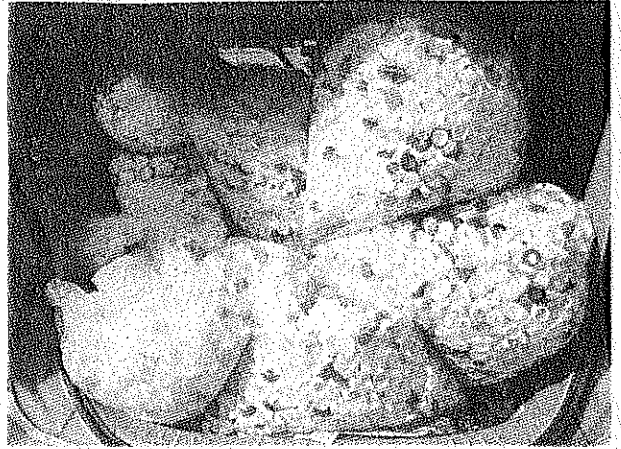
3. 青山中学校での生徒の姿

前期、青山中では、キャップ回収の姿を高めました。それは、前期生徒会執行部によるTVを伝った放送で世界には、ワフチンを必要とする子供達がたくさんいるという事を伝える活動がきっかけでした。そして、その放送後に、キャップ回収の取組を行いました。すると、コンビニへ行ってキャップを集めてくる仲間や、親さんの職場の方達に呼び



かけるなどして工夫してキップを集め、世界に貢献しようと活動する仲間が増えました。取組を1週間が約6万個ものキップを回収でき、全校生徒が参加する活動になりました。

取組後の後期でもキップ回収の意識は変わらず、継続して集めています。その姿として、コンビニの店員さんにお預金を集める人が増えたり、1人が「ついで」もいっしょに持って来るようになり、多くの人々が参加してくれるようになりました。



4. 地域の皆様に感謝の気持ちをもつ青山中を目指して

地域の皆様、日頃から私たちをあたたかく見守って下さり、ありがとうございます。私たちは、このような気持ちをもっています。しかし、青山中生徒全員がこのような気持ちをもっているかと考えると、必ずしもそうではありません。だから、この活動を通して、1人1人が感謝の気持ちをもつことを目指して、さらに深い地域の皆様とのつながりを大切にしていきたいです。

現在の青山中では、体育大会や合唱祭を通して、仲間とのつながりを大切にしてきました。そこで、仲間だけでなく、様々な人とのつながりも大切なことと、1人1人が気づけるように、「学校内から地域にも視野を広げよう」という考えをもっていきたいと思っております。

5. キップ回収の方法

公民館で回収していただいた1リットルボトルキップを、青山中の執行部が、月に1回、日曜日の午前中に回収に行きます。

以上のような目的でキップ回収の活動を行ってまいりたいと考えています。1人の力で救える子供の人数は少ないですが、青山中校区の皆様と力を合わせる事で、より多くの子供を救っていただける活動にしていきたいです。また、二酸化炭素の排出量を少しでも減らす事ができる活動にしていきたいです。

地域の中にある青山中学校として、地域の皆様と活動するとともに、地域の皆様に感謝の気持ちを大切にできるようにしていきたいです。

ご協力、よろしくお預願いします。